



「化学の時代に」思う

協和油化株式会社



常務取締役 植山 智

新しい化学

二十一世紀は「化学の時代」といわれ、超伝導、生命科学等の先端技術には化学の役割が大きく、化学は全産業に必須なものという地位を確保しつつある。

題 字 は 松本太郎先生筆

Table with 2 columns: Name and Position. Includes names like 伊藤和雄, 上野敦行, etc.

史、伝統や習慣等についての知識が不足しており、何かと誤解され易い。エチケツト、マナーの類についても然りといえよう。

卒業生からの便り

会社における先輩、後輩 松田明夫

先輩あるいは後輩という言葉を聞く時、大変誇らしく聞く時と、疎ましく聞く時があります。前者は例え、ご自身の努力の結果が...

最後にあたり、新しい「化学の時代」をより良く作り上げるべく、諸兄諸姉の一層の活躍を期待してやまない。 昭和二十七年卒

馬力でこなしています。飯田さん(三十七年卒)は、学生時代の英語、ロシア語に加え、台湾駐在時代にマスターした中国語を操り、雀友、後輩を煙に巻くこと再び。...

研究室訪問



電気化学研究室 上野敦行 助教

今回の研究室訪問は、二号館地階二〇七B号室の電気化学研究室を尋ね、上野先生にいろいろお話を伺いました。卒業生としての先生は、研究テーマは、「空気電池の電極の触媒」や「強磁場中で還元析出させたコバルト金属の結晶の配向性」が主研究とのことでした。

術館をはじめあちこち尋ねておられる様子であった。絵筆をもったのは小学校三年のときで、小学校の先生のほかに習ったことがない、全くの自己流です。...

社会へ巣立つ後輩の諸君へ 中村百樹 社会人となりすでに三十余年が過ぎ、その間の経験から皆さんに是非とも身につけて、考えて頂きたい基本的な事を申し上げます。...

タイ美人は日本が大好き 西 宗雄 日本とタイ国との間には六百年の交流の歴史があり、第二次大戦のクワイ河の「戦場に掛ける橋」が知られている。

